

# 河川

近畿管内では10水系における河川事業、3箇所のダム事業、5箇所の砂防事業、1箇所の地すべり事業、1箇所の海岸事業を実施しています。  
( 新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、加古川水系、揖保川水系、円山川水系、由良川水系、北川水系、九頭竜川水系 河川整備 / 大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、足羽川ダム / 瀬田川水系、木津川水系、六甲山系、九頭竜川水系、紀伊山地砂防 / 亀の瀬地すべり対策 / 東播海岸 )

## 復興・防災対策

### 大規模災害の復旧(再度災害防止)

平成23年台風12号により、紀伊半島では日本の年間の平均降水量を超過する総雨量約1,400mmという未曾有の豪雨が発生しました。

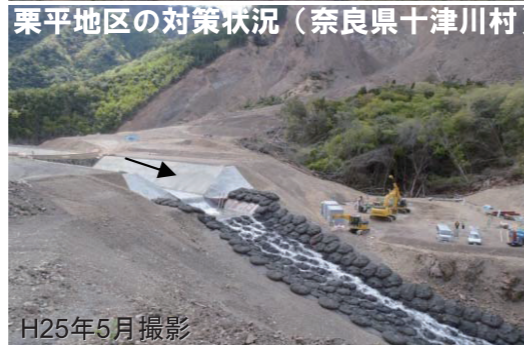
この大雨で、三重県、奈良県、和歌山県では床上浸水家屋が3,000戸にも及び、また、紀伊半島全体で3,000箇所以上の土砂崩壊を引き起こすなど甚大な被害が発生しました。

これらに対する再度災害防止を目的として、平成23年度より熊野川河川激甚災害対策特別緊急事業、紀伊山地特定緊急砂防事業を実施し、災害に強い社会基盤整備を進めています。

### 熊野川 激甚災害対策特別緊急事業



### 紀伊山地 特定緊急砂防事業



## 暮らしを守るダム事業

洪水を貯留することにより、下流の水位低下を図るとともに、貯留した水による安定的な都市用水の供給・発電を行い、安全・安心な生活を支えます。

### あまがせ 天ヶ瀬ダム再開発



再開発工事(トンネル式放流設備)を実施しています。

### あすわかわ 足羽川ダム



地権者団体と平成25年3月に損失補償基準(土地の価格等の補償単価)の合意に達しており、用地補償等を実施します。

## 命と暮らしを守るインフラ総点検・再構築

### 予防的な治水対策の強化

平成24年7月の九州の豪雨災害を踏まえ、管内の直轄河川の堤防等について緊急点検を行い、堤防の崩壊のおそれがある、流下能力が不足しているなど対策が必要な区間(約300km)を抽出しました。

これらに対する緊急対策として、堤防強化や河道掘削などを実施しています。

砂でつくられた堤防(木津川)



流下能力の不足箇所(紀の川)



### 河川管理施設等の総点検、老朽化対策

河川管理施設の機能が持続的に発揮できるよう、データベースによる施設全体の把握や定期点検による異常の早期発見に努めています。

施設の長寿命化を進め、ライフサイクルコストの縮減を図ると共に、戦略的な維持管理を行います。

護岸の損傷状況

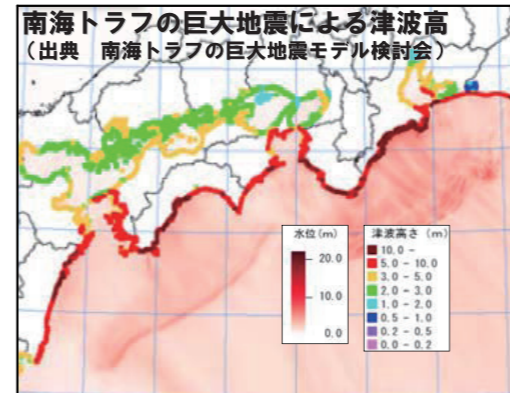


排水機場ゲートの劣化状況

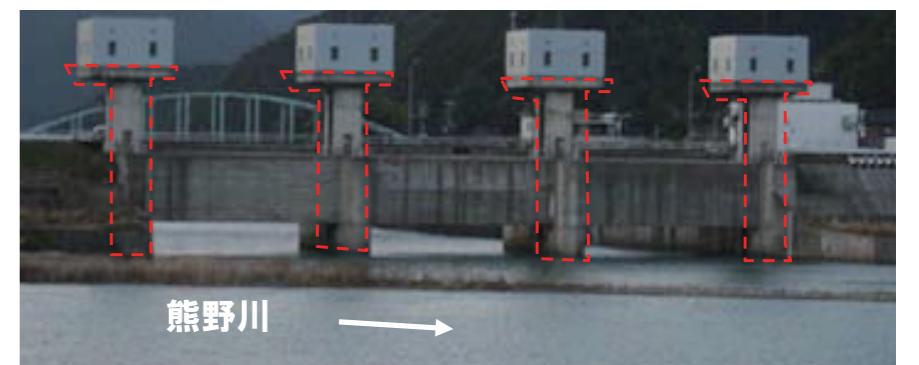


## 東南海・南海地震への備え(耐震・津波対策)

今後、30年間で60%~80%の確率で発生するとされている東南海・南海地震に備え、堤防や水門・樋門等の耐震化を実施しています。



ふなだ [鮎田水門耐震対策]



## 暮らしの安心・地域活性化

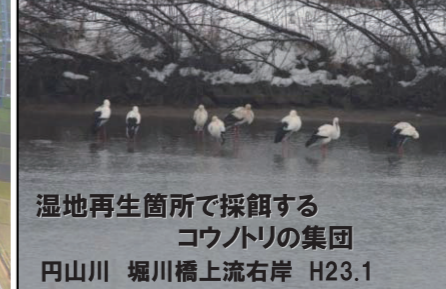
### 生態系の保全を促進する自然再生

人と自然の共有する社会の実現に向けて、多様な生物の生息・生育・繁殖環境を再生するため、河川の環境整備を実施します。

加陽地区の大規模湿地再生(兵庫県豊岡市)



湿地再生箇所にて採餌するコウノトリの集団



三宅地区の水際環境保全再生(福井県福井市)

